

ヒアリング項目の整理（案）

1. 材料リサイクル事業者

（ ヒアリングの際にご説明いただきたい項目 ）

- 現行のペール品質を前提として、再商品化製品の品質・価格、他工程利用プラの発生量等、再商品化工程中の環境負荷、コストについて、現状はどうなっており、また、今後それぞれの程度改善が可能か。
- 異物除去等の品質向上のための技術開発動向及びその導入の可能性
- 材料リサイクルに適した容器包装プラスチックとはどのようなものか。また、それは見た目でも識別可能か、それとも材質等に基づいた表示が必要か。
（ 例えば、PVCやPVCが除かれるだけで良いのか。その他に除かれることが望ましい素材はあるか。また、それらの素材が含まれていて現在材料リサイクルを行う際に困っている製品はあるか。 ）
- 環境保全上の効果や経済性等の向上のため、ペールに関し品質等どのような改善を望むか。また、改善された際には、再商品化製品の品質とコストはどの程度改善するのか。
- 上記以外に材料リサイクル手法の高度化に向けた他の主体への要望はあるか。

（ ヒアリングの際に資料提出の形で意見提出をお願いしたい項目 ）

- 他工程利用プラスチックの処理の現状はどうなっているのか。ケミカルリサイクルにおけるカスケード利用、RPF化するといった方向性はあり得るか。
- コスト構造は一般的にどのようなになっているのか。
- 上記のほか、環境負荷やコストの削減にはどのような措置、取組が効果的と考えるか。
- 消費者に材料リサイクルを身近な商品で感じてもらうためには、再商品化段階でどのような取組が可能と考えるか。
- 審議会におけるLCA等のリサイクル手法の評価に関する議論への意見はあるか。
- 上記のほか、現在の容器包装リサイクル制度への要望はあるか。

2. 再商品化製品利用事業者

（ ヒアリングの際にご説明いただきたい項目 ）

- 再商品化製品利用事業者から見て、容リプラスチックが果たすべき役割をどう考えるか。
- 加工技術、添加剤等の技術開発動向及びその導入の可能性
- 再商品化製品利用事業者として、環境保全上の効果や費用面からみて、再商品化製品の品質はどのように改善されるべきと考えるか。例えば、以下のような方向性をどう考えるか。
 - ・ 再商品化製品の単一素材化
 - ・ 再商品化製品の品質安定化
 - ・ 再商品化製品の収率を重視し、高機能な再商品化製品の利用商品を効率良く作ること
- 消費者に材料リサイクルを身近に感じてもらえる商品分野を開拓し、それを安定的に供給で

きる見込みはあるか。品質が向上した場合の、新たな用途と市場規模、価格等。

- パレット等材料リサイクルされたものは最終的にどのように処理されているか。LCAでは全て単純焼却とされているが、カスケード利用やリサイクル等の可能性をどう考えるか。
- 上記以外に材料リサイクル手法の高度化に向けた他の主体への要望はあるか。

(ヒアリングの際に資料提出の形で意見提出をお願いしたい項目)

- コスト構造は一般的にどのようになっているのか。現在の用途と使用量、購入価格、販売価格等。
- 審議会におけるLCA等のリサイクル手法の評価に関する議論への意見はあるか。
- 上記のほか、現在の容器包装リサイクル制度への要望はあるか。

3. ケミカルリサイクル事業者

(ヒアリングの際にご説明いただきたい項目)

- 現行のペール品質を前提として、他工程利用プラの発生量の減少等、再商品化工程中の環境負荷やコストについて、現状はどうなっており、また、今後それぞれどの程度改善が可能か。
- 環境保全上の効果や経済性等の向上のため、ペールに関し品質等どのような改善を望むか。改善された際には、再商品化製品の品質とコストはどの程度改善するのか。
- 材料リサイクルで発生した他工程利用プラスチックを利用する場合の問題点は何か。
- 上記以外にケミカルリサイクル手法の高度化に向けた他の主体への要望はあるか。

(ヒアリングの際に資料提出の形で意見提出をお願いしたい項目)

- 再商品化技術の現状
 - ・ 再商品化製品は何に代替しているのか。燃料としての石油石炭か。
 - ・ 容器包装プラスチックに含有されているもののうち再商品化されているのは何か。水素か炭素か別のものか。
 - ・ どのような形態変化をして再商品化しているのか（固体のままなのか熔融か等）。
 - ・ 化学的にはどう位置付けられるか（原料中酸素の還元なのか、酸化燃焼なのか等）
 - ・ 他工程利用プラスチックの利用の現状とその高度化の方向性。
- 現在ケミカルリサイクルが代替している技術（還元、油化等）の、今後の開発動向。
- 上記のほか、環境負荷やコストの削減にはどのような措置、取組が効果的と考えるか。
- 審議会におけるLCA等のリサイクル手法の評価に関する議論への意見はあるか。
- 上記のほか、現在の容器包装リサイクル制度への要望はあるか。

4. 特定事業者

(ヒアリングの際にご説明いただきたい項目)

- リサイクルのしやすさの観点から、容器包装の製造に当たって材質、構造の選択等をどのように配慮してきたか。
- 材料リサイクルの高度化の観点から、例えば、以下のような取組は可能か。
 - ・ PETボトルに見られるような、特定の容器包装の素材の各社共通化
 - ・ 非発泡PSのPP、PEによる代替化
 - ・ 容器包装の素材からPVC、PVDCを極力排除すること
 - ・ 色つきトレイを廃止し、白色トレイとして回収することによる容リプラスチック中のPP、PE含有量の向上
 - ・ 金属混入容器包装の減少
- 複合素材の容器包装を他のもので代替するなど、材料リサイクル事業者の意見を聞きつつ、容器包装の設計を行うことは可能か。
- 以下のような識別表示の高度化を行うこととした場合の問題点はあるか。
 - ・ 住民にわかりやすいようより大きくすること
 - ・ プラ表示を更に細分化すること
 - ・ 不適切な表示を防ぐための何らかの措置を講じること

(ヒアリングの際に資料提出の形で意見提出をお願いしたい項目)

- 審議会におけるLCA等のリサイクル手法の評価に関する議論への意見はあるか。
- 上記以外の現在の容器包装リサイクル制度への要望。

5. 地方自治体

(ヒアリングの際にご説明いただきたい項目)

- 分別排出について、住民からはどのような要望がなされているか。また、分別排出を進める工夫、分別排出について住民の理解を得る工夫はあるか。
- 容器包装プラスチックの収集選別を行う際に困っていることは何か。収集選別コストは現在どうなっており、これを抑制するための提案はあるか。
- 収集選別の高度化の観点から、以下のような取組をした場合どのような問題が生じるか。
 - ・ 表示マーク等を付す、堅いもの・大きいもの等予め条件を決めておく等により、材料リサイクル用、ケミカルリサイクル用と容リプラスチックを分けて収集又は選別すること。
 - ・ ラップ類等塩素分の多い容器包装プラスチックを特定し、燃やすゴミとして収集すること。
- 上記以外の容器包装リサイクル制度の高度化に向けた他の主体への要望はあるか。

(ヒアリングの際に資料提出の形で意見提出をお願いしたい項目)

- プラスチック容器包装リサイクル制度への参加自治体数が増えるためには、どのような制度改善がなされるべきか。

- 白色トレーの回収率向上の可能性
- 上記のほか、現在の容器包装リサイクル制度への要望はあるか。
- 審議会におけるLCA等のリサイクル手法の評価に関する議論への意見はあるか。

6. 消費者

(ヒアリングの際にご説明いただきたい項目)

- どのような分別、どのぐらいの回収頻度なら消費者として受け入れることが可能か。(現状のままか。表示があればできるか。例えば、袋、トレーとふた、ボトルのような形状ごとの分け方ならどうか。)
- より高度な分別には具体的には、どのような普及啓発等の施策が効果をあげているか。
- それぞれの再商品化手法について消費者はどうみているか。
- ベール品質向上のためには、どのような措置、取組がなされるべきと考えるか。
- 上記のほか、容器包装リサイクル制度の高度化に向け、他の主体への要望はあるか。

(ヒアリングの際に資料提出の形で意見提出をお願いしたい項目)

- 白色トレーの回収数増の観点から各主体は何ができると思うか。
- 上記のほか、環境負荷の削減にはどのような措置、取組が効果的と考えるか。
- 上記のほか、現在の容器包装リサイクル制度への要望はあるか。
- 審議会におけるLCA等のリサイクル手法の評価に関する議論への意見はあるか。